

(5) 伊予ブロック（伊予市、松前町、砥部町）

～産地づくり～

県都松山市に隣接し、市場だけでなく産直市や、観光農業、通信販売等、多様な販売チャネルの活用が見込めるため、消費者ニーズを捉えた多様な野菜・花き類や地域ブランド製品の生産振興による産地づくりを目指します。水田農業では、新品種の導入や品質向上を図る一方で、コスト削減や省力化に努め、集落ぐるみで産地育成を推進します。また、果樹では、環境に配慮した栽培管理や鳥獣被害防止にも取り組みながら、地域経済を支える基幹産業として足腰の強い競争力のある産地の確立を目指します。

～推進品目や産地づくりの方向～

○収益性の高い水田経営の推進

1 水稻・はだか麦の優良種子の安定生産

【取組】

① 優良種子を生産するための技術向上研修会や穂肥講習会の開催

- ・技術向上研修会(水稻、はだか麦：3地区/2回〔5,10月〕) [図1]
- ・穂肥講習会を開催(水稻：2回〔7,8月〕) [図2]

② 採種ほ場の出穂期・成熟期の審査を通じた優良種子の確保

【成果】

- ① 生産者の採種栽培技術の向上
- ② 令和8年産における県内で必要な種子量を確保
[水稻]

	R8播種用	R7	R6
品 種	6	6	6
生産量 (t)	143	143	153

[はだか麦]

	R7播種用	R6	R5
品 種	1	1	1
生産量 (t)	66	77	65

2 水稻新品種「ひめの凜」の普及拡大

【取組】

① 産地化に向けた現地実証ほの設置や栽培講習会の開催

- ・中間流し込み液肥施用の実証（1か所：松前町）
- ・栽培講習会を開催：3回（4,7,8月） [図3]

② 栽培者の確保および認定栽培者制度により食味向上の取組を徹底

【成果】

- ① プレミアムクオリティの比率：19% [R6：20% R5：31%]
- ②
 - ・栽培戸数：84戸 [R6：76戸、R5：75戸、R4：53戸]
 - ・作付面積：82ha [R6：62ha、R5：62ha、R4：57ha]

3 はだか麦「ハルヒメボシ」の高品質安定生産

【取組】

① 品種特性に対応した栽培技術の普及や後期重点施肥技術の導入による平均単収の向上

② 基肥減量と生育中期(1月)の中間追肥による実証 [図4]

【成果】

- ① R7年産平均単収：368kg
- ② 肥料実証ほ場の収穫量・品質を把握

	R7	R6	R5	R4
平均単収 (kg/10a)	368	283	370	310
1等比率 (%)	99	14	4	12



[図1] 種子生産技術向上研修会



[図2] 採種ほ穂肥講習会



[図3] 中干し講習会



[図4] 実証ほ生育調査

○果樹の高品質安定生産によるブランド力の向上

1 愛媛果試第48号「紅プリンセス」の品種特性調査

【取組】

- ① 魅力ある中晩柑産地づくり会議の開催(2回：6/30、3/16)
- ② サンテ、ホワイトコート散布による日焼け対策実証ほの設置[図5]

【成果】

- ① 実証試験の検討・実施と関係機関での情報共有
- ②
 - ・サンテ被覆により、日焼け果の発生が軽減
(日焼け果率 サンテ：16%、ホワイトコート：58%、対照区：58%)
 - ・果皮温度が低下
(サンテ：33℃、ホワイトコート：38℃、対照区：約38℃)
 - ・果実肥大、果実品質については影響なし

2 キウイフルーツの産地強化

【取組】

- ① 生産性向上のため、老木園の改植推進とモデル園の管理指導
- ② バウンティ台木の推進と、苗木導入者への個別巡回指導 [図6]

【成果】

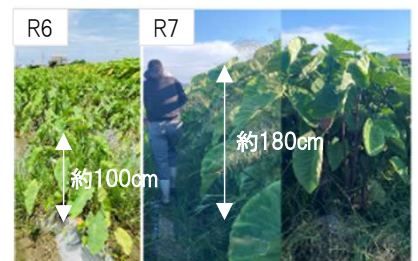
- ①
 - ・改植・新植面積：3.7ha
 - ・苗木モデル園樹冠占有面積：92%
- ② バウンティ台木導入農家数：6戸



【図5】日焼け対策実証(サンテ)



【図6】苗木植栽後の個別指導



【図7】R6,7の媛かぐやの生育状況比較(8月下旬)

○地域特産野菜・花き振興による農家所得の安定

1 地域特産野菜の振興

【取組】

- ① さといも(媛かぐや、愛媛農試V2号)の普及拡大に向けた栽培講習会の開催(5,10,2月)
- ② ほ場巡回および防除・かん水等の適正管理の指導
- ③ 媛かぐやの種芋定植による初期生育の安定化 [図7]

【成果】

- ① 媛かぐや生産者、栽培面積：22戸 30a
[R6：15戸17a、R5：7戸6a、R4：4戸2a]
- ② さといも疫病の発生件数：0戸 [R4～6：0戸、R3：1戸]
- ③ 出荷可能生産者数の増加：11戸 [R6,5：3戸]

2 鉢物生産技術の向上

【取組】

- ・さくらひめ鉢物栽培技術の向上を図るため、個別巡回指導や夏季自家育苗の実証ほの設置(2か所) [図8]

【成果】

- ・夏季自家育苗技術により、3～4月出荷を実現
- ・生産量：3,100鉢
[R6：5,400鉢、R5：10,200鉢、R4：10,400鉢、R3：9,900鉢]
- ・生産者数：5戸 [R3～6：6戸]



【図8】夏季自家育苗技術の実証



【図9】
ななおれ組合による実務研修

○地域を代表するブランド製品の産地維持・振興

1 「ななおれ組合」の就労者確保

【取組】

- ① ひめカレ(愛媛県立農業大学校)の学生が梅の収穫・加工を研修
- ② 梅まつりで労働力補完を多角化

【成果】

- ① 生産から加工・出荷までの一貫体制での研修により、将来の就農意欲を促進(5月) [図9]
- ② ネット求人等により、イベント販売や栽培管理作業の人材を延べ20人確保(2,3月) [図10]



【図10】町内外の協力支援

～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携・協力し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や参入企業の掘り起こしと定着支援に取り組みます。また、集落営農組織の育成や法人化を進め、優良農地など地域農業基盤の維持・管理と地域コミュニティの活性化を図ります。

活力と愛顔あふれる農村社会を実現するため、女性の感性や能力を活かした起業活動や農業経営への参画を推進し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。

～推進対象や地域づくりの方向～

○次代を担う新規就農者の確保・育成と多様な人材の参画支援

1 新規就農者の確保

【取組】

- ・サラリーマン等を対象とした休日就農相談会（11,12月）や、個別の就農相談等を通じた新規就農者の確保
- ・伊予農業高校での就農啓発交流会を開催（7,12月）[図11]

【成果】

- ・新規就農者：5人〔R6：12人、R5：10人、R4：7人〕
- ・新規就農者のうち、認定新規就農者：4人
〔R6：9人、R5：10人、R4：4人〕

2 新規就農者の定着率向上

【取組】

- ① 新規就農者育成総合対策等利用者等への定着支援（対象：29人）
- ② 補助事業及び資金借入による早期経営安定支援（対象：9人）
- ③
 - ・青年農業者組織活動支援及びプロジェクト課題（1課題）の設定
 - ・先進事例調査（2月）、ひめカレ生との農作業体験（11月）、愛大留学生のかんきつに関する意見交換（2月）を実施[図12]

【成果】

- ①～③ 就農3年目の定着率：50%〔R6～4：100%〕

3 多様な人材の参画支援

【取組】

- ・農福連携の取組啓発とマッチング支援
- ・集落営農組織に対する農福連携情報の提供と、マッチング支援

【成果】

- ・農福連携による雇用が定着：3法人



[図11] 伊予農業高校生との就農啓発交流会



[図12] かんきつ意見交換

○優良農地を保全する集落営農組織・農業生産法人の育成

1 集落営農組織や農業生産法人の育成

【取組】

- ・中小企業診断士等を活用した経営相談の推進による経営改善支援

【成果】

- ・中小企業診断士による経営相談：3法人

2 集落営農の組織間連携による優良農地の保全

【取組】

- ・肥料高騰対策やスマート農業に関する研修会の開催[図13]
- ・組織間連携による、効率的な機械運用の推進[図14]

【成果】

- ・スマート農機の共同利用等、組織間連携意識が向上

3 高収益作物の導入による経営安定

【取組】

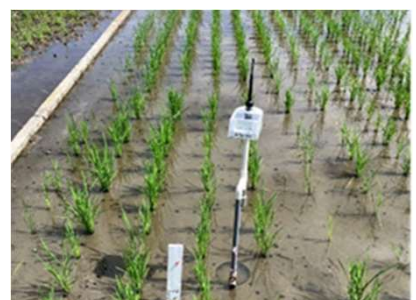
- ① 省力機械の導入による県育成品種さといも「愛媛農試V2号(伊予美人)」の規模拡大の推進
- ② 省力化・効率化に係る研修会を通して、ドローン等の導入啓発

【成果】

- ① 生育調査を実施、栽培面積：9ha〔R6：8ha、R5：5ha、R4：2ha〕
- ② 農業生産法人等（4組織）がドローン防除を実施：114ha
〔R6：81ha、R5：12ha、R4：10ha〕



[図13] スマート農業実演会



[図14]
広域水管理に向けた
センサー試験運用

○女性農業者の仲間づくりと女性が輝く社会の実現

1 地域に根差した食文化の保存・伝承

【取組】

- ・生活研究協議会による地域の食文化普及活動の支援 [図15]
- ・地域の加工品や伝統食・保存食の紹介および継承活動の実施、郷土食や地域農産物加工品のPRと販路開拓の支援

【成果】

- ・学童及び保護者を対象に、えひめ食農教育推進事業を活用した普及講座を各市町で開催し、食文化を普及（3町で、計228人）

2 女性農業者組織の活動支援

【取組】

- ① 女性認定農業者組織「あいネットワーク」への活動支援
- ② 一次産業女子グループ「葉れるや」への活動支援 [図16]
- ③ イベントへの出店やグループの活動支援

【成果】

- ① 視察研修（9/8）及び一次産業女子との交流を実施
- ②
 - ・先進地事例研修を開催（11/13：県内農業女性組織等との交流）
 - ・地域特産（裸麦等）利活用スキルアップ研修を実施（8～1月：7回）
- ③ とべ楽市（6/1,11/30）等へ出店・参加



【図15】食文化普及講座



【図16】葉れるや利活用研修



【図17】農業用ため池の老朽化対策施工状況（三秋大池地区）



【図18】樹園地再編整備の施工状況（砥部地区）

～農業用水の安定供給と樹園地再編による優良品種産地拡大～

○水田地帯の農業用水の安定確保

【取組】

- ① 基幹的水利施設の計画的な更新：1地区（砥部町 銚子ダム）
- ② 農業用ため池の老朽化対策、耐震対策：4地区
（伊予市 吾川地区、宮下新池地区、三秋大池地区、岩崎池地区）

【成果】

- ① 農業用ダムの施設更新事業完了：1か所（砥部町 銚子ダム）
- ②
 - ・老朽化対策及び耐震対策工事实施中：3か所
吾川地区（八幡池）、宮下新池地区、三秋大池地区 [図17]
 - ・老朽化対策工事の委託業務完了：2か所 吾川地区（市ノ坪池）、岩崎池地区

○樹園地の再編整備

【取組】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した樹園地の再編整備

【成果】

- ・再編整備工事实施中：1地区（砥部町 砥部地区） [図18]

～安全・安心な畜産物生産体制の強化に向けて～

○高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の農場への侵入防止

【取組】

- ① 飼養衛生管理基準の遵守徹底を図るための定期巡回指導や、関係機関連携による防疫研修会を通じた、万一来った防疫体制強化の促進
- ② 農場HACCP認証維持のため、HACCPチーム員として指導助言の実施

【成果】

- ①
 - ・防疫研修会を開催し、関係者の意識向上と手順を確認（10/11月） [図19]
 - ・巡回指導により飼養衛生管理基準遵守の実効性を確保
- ② HACCP認証の維持（2農場）及び農場指導員資格者を養成し、指導体制が強化



【図19】防疫研修会

○地域環境に配慮した経営体の育成

【取組】

- ・堆肥の利用状況等に関する聞き取り調査を行い、必要に応じて衛生対策や環境面に対する指導や支援を計画

【成果】

- ・5戸、9農場の巡回指導を実施、畜産環境（堆肥処理、排水、臭気）及び家畜衛生に対する生産者の意識が向上 [図20]



【図20】堆肥の利用状況等について巡回指導